

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

平成 17 年 3 月に公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」の取組みにつきましては、平成 15 年から 16 年度の 2 年間における「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」の取組みの反省点を踏まえつつ、その基本的取組み方針・姿勢を継承しながら、更なる金融サービスの向上等を図ることを目的として、1. 事業再生・中小企業金融の円滑化、2. 経営力の強化、3. 地域の利用者の利便性向上を 3 つの柱とする「地域密着型金融推進計画(17 年～18 年度)」を策定し、その推進に取り組んでおります。

なお、「地域密着型金融推進計画」の平成 17 年 4 月～平成 18 年 9 月の主な進捗状況の概要は下記の通りとなっております。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

創業・新事業支援機能の強化の取組みでは、17 年 4 月の定例異動において、得意先担当者の総体的な融資審査能力の向上を目的に得意先担当者 5 名を融資係に配属し、18 年 4 月の定例異動において内 3 名を得意先担当に配属し、公的制度融資の活用を推進しています。

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化については、こましん研修会を開催しビジネスマッチングと情報交換の場を提供、(独)中小企業基盤整備機構と共催で「中小企業会計啓発普及セミナー」を開催、また、中小企業診断士と業務委託契約を締結し、取引先企業の経営改善支援活動に継続的に取り組んでおります。

また、日本政策投資銀行主催の「地域金融機関との連携による企業支援・事業再生への取組説明会」、知財事業化協会主催の「振興知財ローン説明会」及び各種セミナーに参加し継続的に情報収集に努めています。

事業再生に向けた積極的取組みについては、東京チャレンジファンドに組合員加入するとともに、外部の中小企業診断士を活用し継続的に取り組んでおります。

2. 経営力の強化

リスク管理態勢の充実においては、統合リスク管理を目指しリスク管理の高度化に努力してまいります。なお、内部格付制度の構築においては、専担的人員を配置し取組んだ結果、試行的段階にあります。

総代会制度等についての理解度及び意見・要望を会員に対しアンケートさせていただきました結果につきましては、今後の金庫経営に反映させてまいります。

コンプライアンス態勢については、監査部による監査及び指導並びにコンプライアンスオフィサー資格者の継続的養成により職員個々の意識の向上を図っております。

情報管理の強化のため、金庫内ネットワークを構築し、暗号化ソフトの導入による

セキュリティ対策を行っております。

個人情報の管理・取扱いの徹底を図るため、個人情報保護オフィサー資格者の継続的養成に努めております。

3. 地域の利用者の利便性向上

地域貢献に関する情報開示につきましては、ディスクロージャー誌「REPORT2005」「REPORT2006」及び半期ディスクロージャー誌「KOMATSUGAWA SHINKIN BANKREPORT」並びにホームページにて、地域貢献への取組みについて情報公開しております。また、シグマ情報誌「新しい風」に関連情報を公開しております。

事業所向商品として、東京商工会議所との提携によるメンバーズビジネスローン及び東京信用保証協会保証付無担保保証融資「セットアップ」並びに消費税納付資金「たっくす応援プラン」の取扱いを開始しました。

江戸川区しんきん協議会を通じた各種地域企業支援活動に参加すると共に、地域行事にも積極的に参加しております。

お客様満足度に関するアンケートを実施させて頂いた結果につきましては、今後の業務に反映し利用者の利便性の向上に努めてまいります。